

# なんば駅(地下鉄御堂筋線・四つ橋線・千日前線)① 大坂相撲発祥の地から南堀江をめぐる

JR難波駅(JR大和路線) 大阪難波駅(近鉄難波線・阪神なんば線)  
なんば駅(南海本線・高野線) 西長堀駅(地下鉄千日前線・長堀鶴見緑地線)

「大阪あそ歩マップ集」  
その2 No.069



## 地下鉄なんば駅

### ①加賀藩蔵屋敷跡

江戸時代、ここに加賀藩の蔵屋敷があり、その敷地面積は約5500坪にも及びました。明治15年(1882)には府会議事堂が建てられましたが、明治25年(1892)に火事で焼失。その後、明治35年(1902)に住友倉庫の土地となり、長く倉庫として利用されてきましたが、平成20年(2008)にリノベーションされ、商業施設のキヤナルテラス堀江がオープンしました。

### ②大阪電燈株式会社発電所跡地

明治22年(1889)、当地に大阪初の事業用発電所である大阪電燈株式会社(現・関西電力)の西道頓堀発電所が建てられました。画期的だったのが、先行していた東京電燈は直流発電でしたが、大阪電燈は先見の明で交流発電による高圧配電を採用したことで、やがて直流発電よりも交流発電のほうが優れていると認められ、東京電燈も交流発電へと切り替えざるを得ませんでした。

### ③難波神社お旅所

博労町にある難波神社の御旅所です。かつての7月21日、22日の氷室祭には、難波神社の神輿行列がここで休憩をして、かち割り氷を食べたといひます。



### ④勸進相撲興行の地(南堀江公園)

元禄5年(1692)に南堀江高台橋橋通で勸進相撲が興行されたのが大坂相撲のはじまりです。18世紀後半までは大坂商人の豊かな経済力を背景に江戸相撲以上に隆盛を誇りましたが、地方の諸大名が力士を抱えるようになると、諸大名は参勤交代で江戸にいるので江戸相撲にお抱え力士を出場させ、やがて大坂相撲は流行らなくなっていきました。



### ⑤藤井藍田「玉生堂」跡の碑(高台橋公園)

▼ 藤井藍田は呉服屋と藍を商う

「綿屋」の家業を継ぎながら、田能村竹田に画を、廣瀬淡窓に詩文を学んだ幕末の文人です。やがて国事に目覚めて勤王志士と交わるようになり、長州・薩摩など諸国を巡歴。藍田が開いた私塾「玉生堂」は討幕の志士たちの密会場所となり、それが災いして慶応元年(1865)、藍田は新選組に捕らえられ、天王寺区の萬福寺に幽閉、獄中で没しました。享年50歳で、天王寺区の統国寺に墓所があります。

### ⑥立花通り(オレンジストリート)

長堀川の材木市に近いこともあって、幕末から建具屋、古道具屋、筆筒商、仏壇屋などが並び、明治、大正時代には家具屋街として賑わいました。現在は家具屋のほかに、インテリアショップや雑貨屋、カフェなどが並び、「オレンジストリート」と呼ばれて若者のまちになりつつあります。

地下鉄なんば駅

